

ロシア・東欧学会 JSSEES
2013 年合同研究大会 プログラム(予告版)
2013 年 10 月 5 日(土)・6 日(日) 津田塾大学

1日目: 10月5日(土)

11:30~13:00 ロシア・東欧学会 理事会 会場: 5号館3階 5301教室

13:00~13:05 開会挨拶(ロシア・東欧学会代表理事、大会開催校) 会場: 5号館1階 5101教室

13:05~14:50 ロシア・東欧学会 共通論題 「ロシア・東欧における人と生活、境界線」

第1セッション 研究報告

司会: 木村崇(京都大学名誉教授)

報告: 『一』と『多』の間で—外の境界と内なる境界

—現代ロシア文学と映画の例に基づいて— 沼野充義(東京大学)

「ボスニアの境界性とボスニア人の祖国イメージ」三谷恵子(東京大学)

「ロシアにおける中国人理解—メタファーとしてのディアスポラ—」堀江典生(富山大学)

討論: 望月哲男(北海道大学)

15:00~17:00 ロシア・東欧学会 共通論題 「ロシア・東欧における人と生活、境界線」

第2セッション パネル・ディスカッション

司会: ヨコタ村上孝之(大阪大学)

「ロシアにおける人と生活、境界線のジェンダー—少子高齢化から見る—」五十嵐徳子(天理大学)

「ポーランド・ウクライナ国境地帯の文学・美術と境界—ユダヤ人の動きを軸に—」加藤有子(東京大学)

「欧州におけるエネルギーのパラダイムシフトとロシア東欧の選択

—分散ネットワークシステムへの移行と境界線・生活の変化?—」蓮見雄(立正大学)

「境界線をめぐる西と東のゼノフォビア—開放・包摂と排除の論理—」羽場久美子(青山学院大学)

17:00~17:30 ロシア・東欧学会 総会 会場: 5号館1階 5101教室

18:30~20:30 ロシア・東欧学会、JSSEES 合同懇親会 会場: 国分寺エル8階 Lサロン飛鳥

2日目: 10月6日(日)

9:00~12:00 ロシア・東欧学会、JSSEES 合同自由論題

分科会1(文学・文化・国際関係) 座長: 岩本和久(稚内北星学園大学) 会場: 本館3階 H305教室

第1報告: 生熊源一(北海道大学大学院)

「二つの『カシーラ街道』—A.モナストウイルスキイの創作における世界把握の変質—」

討論者: 村田真一(上智大学)

第2報告: 古川哲(東京外国語大学大学院)

「『エーテルの道』から『ジャン』へ: 1920~30年代のプラトーフ作品における人間像の変化をめぐって」

討論者: 岩本和久(稚内北星学園大学)

第3報告: Lucia Kováčová(青山学院大学大学院)

“The comparison of refugee resettlement policy in Japan and the Czech Republic”

討論者: 福田宏(京都大学)

分科会2(経済・社会) 座長: 家本博一(名古屋学院大学) 会場: 本館3階 H306 教室

第1報告: 道上真有(新潟大学)

「ロシア都市住宅の市場経済化の現状と課題:『住宅貧乏都市モスクワ』を中心に」

討論者: 富山栄子(事業創造大学院大学)

第2報告: 小西豊(岐阜大学)

「ロシアにおける障害者の職業訓練と雇用問題—インクルーシブな社会を目指しているのか—」

討論者: 大津定美(神戸大学名誉教授)

第3報告: 小山洋司(新潟大学名誉教授)

「スロヴェニアのサクセス・ストーリーとその落とし穴」

討論者: 土田陽介(三菱UFJリサーチ&コンサルティング調査部)

第4報告: 藤井陽一(元西南学院大学大学院)

「フルシチョフ憲法草案(1962-64)起草の背景と過程—人権と民主主義の観点から—」

討論者: 小森田秋夫(神奈川大学)

分科会3(政治・外交) 座長: 小澤治子(新潟国際情報大学) 会場: 本館3階 H310 教室

第1報告: 大崎巖(立命館大学大学院)

「現代ロシアにおける「南クリルの問題」が果たす政治的機能—第2期プーチン政権期を中心に—」

討論者: 黒岩幸子(岩手県立大学)

第2報告: 油本真理(日本学術振興会特別研究員)

「現代ロシアの政治変容と地方: 沿ヴォルガ地域における圧倒的一党優位の形成過程、1991-2011」

討論者: 大串敦(慶應義塾大学)

第3報告: 西山美久(九州大学大学院・日本学術振興会特別研究員)

「プーチン体制下における政治動員—選挙マシーンとしての官製青年組織『ナーシ』—」

討論者: 上野俊彦(上智大学)

第4報告: 加藤美保子(北海道大学専門研究員)

「ロシア・ベトナム戦略的パートナーシップの分析」

討論者: 兵頭慎治(防衛研究所)

12:00~13:30 昼休み

JSSEES 理事会 会場: 本館4階 H401 教室

13:30~14:00 JSSEES 総会 会場: 本館3階 H315 教室

14:00~16:30 JSSEES シンポジウム「ソヴィエト国家と古儀式派」 会場: 本館3階 H315 教室

司会: 三浦清美(電気通信大学)

報告: 下斗米伸夫(法政大学)「古儀式派とソヴィエト国家の起源・再考」

阪本秀昭(天理大学)「古儀式派礼拝堂派とソヴィエト国家」

討論: 塚田力(通訳業)

渡辺圭(千葉大学)

16:30~16:35 閉会挨拶(JSSEES 理事長)

プログラム(確定版)、報告要旨集、報告ペーパーのウェブ掲載

止むを得ず、プログラムの一部が変更される場合があります。プログラム(確定版)と報告要旨集(大会当日配布)および報告ペーパーは、ロシア・東欧学会ウェブサイト(<http://www.gakkai.ac/roto>)にて9月中旬以降に随時掲示します。報告ペーパーは大会当日に配布されませんので、事前にダウンロードの上、各自ご持参いただきますようお願い申し上げます。

<研究大会に関するご案内>

1. ロシア・東欧学会ホームページにおけるオンライン参加登録

JSSEES 会員を含む全ての参加予定者は、9月20日(金)までに、ロシア・東欧学会ホームページ (<http://www.gakkai.ac/roto>)にてオンライン参加登録をお願いします。その際には、メール・アドレス(任意)が必要となり、登録内容はメールにより自動返信されます。**オンライン登録の最終画面または返信メールを印刷の上、大会受付時にご提示ください。**事前に参加登録をされない場合は、報告要旨集および名札をご用意することができません。オンライン登録が利用できない場合、登録後の変更等は、ロシア・東欧学会事務局(jarees_office@yahoo.co.jp)までメールまたは学会HPのお問い合わせフォームからお知らせください。

2. 津田塾大学小平キャンパスまでのアクセス(車でのご来場はご遠慮ください)

(1) 西武国分寺線 鷹の台駅 から徒歩約8分

- ・ JR 中央線国分寺駅で西武国分寺線東村山行きに乗り換え、鷹の台駅下車
(東京駅から乗り換え含め約70分、羽田空港から乗り換え含め約100分)
- ・ 西武新宿線東村山駅で西武国分寺線国分寺行きに乗り換え、鷹の台駅下車
(高田馬場駅から乗り換え含め約60分)

(2) JR 武蔵野線 新小平駅 から徒歩約18分

(武蔵浦和駅から約55分)

3. 昼食

研究大会両日も大学内の食堂等は営業しておらず、大学周辺にも飲食店がほとんどありません。2日目につき、ご希望の方にお弁当(1食700円)をご用意します。オンライン登録の際にお申込みください。お弁当の引換には、オンライン登録の最終画面または返信メールのご提示が必要となります。

4. 合同懇親会(会費 一般5,000円、大学院生4,000円)

日時:10月6日(日)18:30~20:30

場所: 国分寺エル8階 Lサロン飛鳥(東京都国分寺市南町3-20-3 国分寺駅ビル エル専門店街)

研究大会とは会場が異なりますのでご注意ください。津田塾大学小平キャンパスから国分寺駅へは西武国分寺線鷹の台駅経由で約20分です。

申込み:オンライン参加登録時にお申込みが必要です。大会受付時に会費をお支払いください。

懇親会場の地図



国分寺エル 8階フロアマップ



JR国分寺駅改札を出て右側すぐ、マルイ側エレベーターをご利用ください。

<お問い合わせ>

プログラムについて: JSSEES 事務局 伊藤 順二(京都大学) junjiito@zinbun.kyoto-u.ac.jp

機材の使用について: 大会開催校 吉岡 潤(津田塾大学) junyoshi@tsuda.ac.jp

